

松山市SDGs推進協議会

● 設立背景・目的

- 令和2年7月に松山市が国からSDGs未来都市に選定され、活動を開始
- 多様なステークホルダー(産・学・民・官・金)が情報交換や人的交流を行うプラットフォーム
- ステークホルダー同士のパートナーシップにより地域課題解決プロジェクトの創出を促進



● 参加メリット

① 情報を共有

セミナーやワークショップでSDGsに関する知見や動向、地域課題を共有



SDGsカフェ

② 団体間でつながる

団体間で地域課題の解決や事業可能性を考え、コミュニティを形成



SDGs未来工房

③ プロジェクトを実践

目的を共有する団体で分科会を設け、地域課題の解決に向け実践



分科会

「持続可能な地域づくり」にはパートナーシップでの取組が不可欠です！一緒に活動を始めてみませんか？



会員団体 募集中!!

【募集団体】

- ✓ 企業や大学、高校等の教育機関、金融機関、NPO、まちづくり協議会、町内会等の地縁団体など
- ✓ 市外・県外の団体でも、趣旨にご賛同いただける場合は入会可能



協議会について

入会方法

入会をご希望の団体は、松山市HPをご確認ください。
<https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/SDGs/SDGssuisin/index.html>

松山市SDGsサポーターズクラブ入会

募集中

松山市のSDGsに関する取組を個人として応援する

“松山市SDGsサポーター”

SDGsの取組に興味がある方、SDGsの推進にご協力いただける方は、ぜひサポーターズクラブにご入会をお願いします。

- ✓ 会員向けメールマガジンで松山市のSDGsの取組などを情報収集
- ✓ セミナーやイベントに参加して具体的な行動への理解を深める
- ✓ 松山市のSDGsの取組などにボランティア参加 など

登録方法

入会をご希望の場合は、松山市HPもしくは右の二次元コードを読み取って申請してください。(入会費・年会費無料)
https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/SDGs/matsu-torikumi/s_sapo.html



二次元コードから簡単登録!

寄附金の募集

“SDGs未来都市 松山子ども夢ファンド”

松山市の未来のため、できる範囲でご協力ください。

子や孫の世代に地域の宝をしっかり受け継ぎ、松山で暮らす人や訪れる人がさらに笑顔になれるよう、いただいた寄附金は、持続可能なまちづくりやSDGsの推進に向けた取組に活用します。

申し込み方法

【個人の場合】

下記のURLよりお申込みください。
<https://www.furusato-tax.jp/product/detail/38201/5606534>

【法人の場合】

寄附申込は下記までお問い合わせください。

松山市総合政策部企画戦略課

〒790-8571 松山市二番町四丁目7-2
 Tel : 089-948-6943
 E-mail:sdgssuisinkyougikai@city.matsuyama.ehime.jp



松山市のSDGsの取組

※このパンフレットには、再生紙および環境に配慮した植物インキを使用しています。
 ※このパンフレットの印刷において必要な電力の100パーセントに松山市の太陽光発電施設で発電したグリーン電力を使用しました。

再生紙を使用しています



SDGs 未来都市 まつやま

～瀬戸内の島・里・山をつなぐまち～

“持続可能な観光未来都市まつやま”を目指して

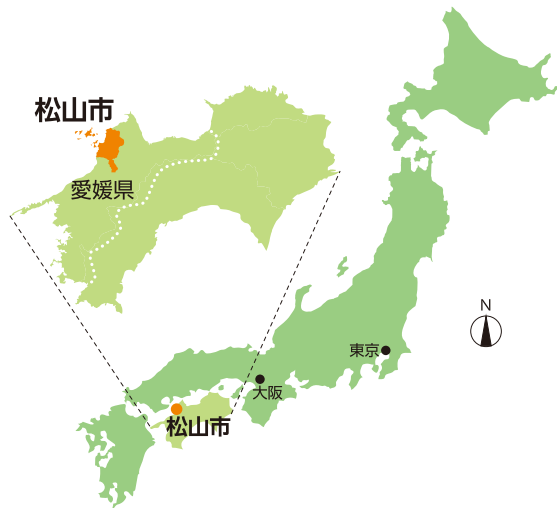


SDGs(エス・ディ・ジーズ)って?



- 2015年の国連サミットで決まった全ての国連加盟国が共通で目指す「持続可能な開発目標」のことです。(Sustainable Developments Goals)
- 働きがいのある仕事の創出や不平等是正、地球温暖化対策や海洋・陸地の環境保全など17のゴールと、各ゴールの詳細を示した169のターゲットで構成されています。
- 目標の達成期限は2030年です。
- 未来の子どもたちに豊かな環境や社会を引き継ぎながら経済発展を遂げていくために、地域に暮らすひとりひとりが“自分事”としてこの17目標の同時達成に向け取り組むことが求められています。

松山市



●面積：429.35Km²
●人口：505,304人
●世帯：243,491世帯
※2023年1月1日現在



■周囲を山で囲まれた松山平野に位置し、市街地や中山間地、島嶼部など多様な地域特性を有する四国最大の都市
■観光関連産業がリーディング産業の1つ

誇れる地域の宝

多様な歴史資源



日本最古といわれる道後温泉や現存12天守のひとつである松山城等の世界に誇れる歴史資源が市内に存在。

歩いて暮らせるまち



路面電車や自転車なども活用しながら歩いて暮らせるコンパクトなまち

豊かな自然環境



瀬戸内海国立公園内に浮かぶ忽那諸島では、美しいビーチをはじめ豊かな自然やのどかな環境など日本の原風景の宝庫。

ことばと文学のまち



近代俳句の祖と言われる正岡子規を輩出したほか小説「坊っちゃん」の舞台になるなど、豊かな文学的土壌が「ことば」を大切にする風土を醸成。

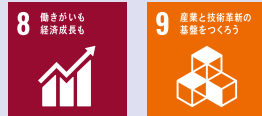
SDGs未来都市

- SDGs達成に優れたポテンシャルを有する都市を「SDGs未来都市」、その中でも特に独自性が高く先導的な自治体の取組を「自治体SDGsモデル事業」として国が選定する仕組み。
- 松山市は令和2年7月にSDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業の両方に四国で初めて選ばれた。
- 取組の核である「松山市SDGs推進協議会」と連携して持続可能なまちづくりを推進している。



2030年のあるべき姿 安全で環境にやさしい持続可能な“観光未来都市まつやま”

経済



産業の活性化と交流・関係人口が拡大する賑わいがあり選ばれるまち

◆地域資源をいかした観光誘客

- ・周遊観光や体験型観光の商品造成による誘客
- ・外国人観光客の誘客
- ・ユニバーサルツーリズムに向けた修学旅行の誘致

◆文化ツーリズム

- ・俳句ブランディングの向上

◆儲かる農林水産業の推進

- ・農水産物のブランド力強化
- ・木材出荷支援

◆郊外の経済循環

- ・島や三津浜地区での空き家バンク
- ・郊外の賑わい創出



社会



コンパクトで防災力も高く多様な主体が活躍する安全安心で快適なまち

◆コンパクトなまちづくり

- ・交通結節点の整備
- ・市街地の再開発

◆安全・安心なまちづくり

- ・防災減災対策
- ・防災教育

◆芸術文化の継承・発展

- ・芸術文化分野の活躍機会の創出

◆健康寿命の延伸

- ・健康づくりの推進



環境



協働が築く豊かな自然環境と共生するまち

◆ESD(持続可能な開発のための教育)の推進

- ・環境教育に関する連携都市との相互交流
- ・国際理解による人財育成・環境教育

◆クリーンエネルギーの導入促進

- ・太陽光発電システムの普及
- ・ZEH(ネットゼロエネルギーハウス)の普及

◆自然との共生

- ・サステナブルツーリズム

◆環境にやさしい移動手段の普及

- ・EV等の普及

